

第1章 基本方針

1 計画改定の趣旨

中・高校生になると未読者の割合が高まる傾向にあり、児童・生徒の読解力の向上も課題となっている。これらの課題に対応し、子供の読書活動を一層推進するため、計画の改定を行う。

2 子供の状況と計画の評価

(杉並区の子供の状況)

杉並区の子供の1ヶ月間の平均読書冊数は着実に伸びているが、学年がすすむにつれて冊数が減少する傾向は変わっておらず、小・中学生の未読者の割合も低下していない。

(計画の評価)

学校への総合的な支援を重点施策に挙げ、学校図書館及び学校での読書活動を充実した。区立図書館等の事業においても一定の成果を上げた。しかし、0歳～就学までの世代、中高生世代への施策の充実、学校図書館の一層の充実、指導体制の強化、子育て世代への意識啓発などの課題が生じている。

3 計画の基本的考え方

子供が本と親しむことにより、思考力を高め、表現力を学び、想像力を身に付け、豊かな人間性と社会性を育むことができるよう、子供の読書環境を整備する

(1) 子供の読書機会の提供と読書環境の充実

(2) 地域ぐるみでの読書活動推進体制の充実

(3) 子供の読書活動推進のための人材育成

(4) 子供の読書活動に関わる保護者等への支援

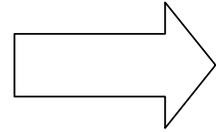
計画の目標 未読者の割合を「ゼロ」にする

小学生	7.1%	➡	0%
中学生	13.0%		(平成26年度)

(平成21年度)

重点的取組み

- 乳幼児への支援及び中学生・高校生向けのサービスの充実
- 学校図書館及び教職員の指導体制の充実



到達目標

- ① 学校図書館図書標準100%達成の学校の割合
・(小中)80%
- ② 読書活動指導計画策定校の割合
・(小中)100%
- ③ 学校図書館の1人当たり年間貸出冊数
・小36冊、中12冊
- ④ 区立図書館の児童資料数
・64万冊
- ⑤ 区立図書館の子供1人当たり年間利用回数
・4回
- ⑥ 年間こどもページアクセス回数
・65,000回

第2章 子供読書活動推進の取組み

1 家庭・地域等における読書活動の推進

- (1) ブックスタート事業の充実
- (2) 区立図書館での乳幼児への支援の充実 (重点的取組み)
- (3) 区立児童館における乳幼児、小学生へのサービスの充実
- (4) NPO・ボランティア・PTAとの協働による読書活動の推進
- (5) 地域人材の育成・支援
- (6) 特別な支援を必要とする子供へのサービスの充実
- (7) 地域・家庭文庫への支援と連携

2 学校における読書活動の推進

- (1) 特色ある読書活動の推進
- (2) 学校図書館の充実 (重点的取組み)
- (3) 教職員の指導体制の充実 (重点的取組み)
- (4) 休み期間中の読書活動についての指導の充実
- (5) 地域・ボランティアとの連携
- (6) 読書関連事業の充実
- (7) 保育園・幼稚園・子供園での読書活動の充実

3 図書館等における読書活動の推進

- (1) 利用しやすい区立図書館づくり
- (2) 区立図書館の計画的な整備
- (3) 図書サービスコーナーの運営
- (4) 杉並区子供読書月間を中心としたイベントの実施
- (5) 小学生向けのサービスの充実
- (6) 中学生・高校生向けのサービスの充実 (重点的取組み)
- (7) 調べる学習賞コンクール等の充実
- (8) 学校への支援
- (9) 図書館見学、職場体験、インターンシップへの取組み
- (10) 児童図書の再活用(リユース)の実施

4 読書活動に関する情報の発信

- (1) 杉並区子供読書月間を中心とした広報・啓発
- (2) 子供向けホームページ等による情報発信
- (3) 推薦図書リストの発行
- (4) 地域・関係機関の読書活動情報の提供

5 読書活動を推進するための体制と関係機関の協力・連携

- (1) 子供読書活動推進委員会との連携
- (2) 区関係機関との協力・連携体制の推進
- (3) 大学図書館との協力・連携体制の推進